

メコン地域における陸上ハブ・アンド・スポーク物流システム導入に向けた実証事業



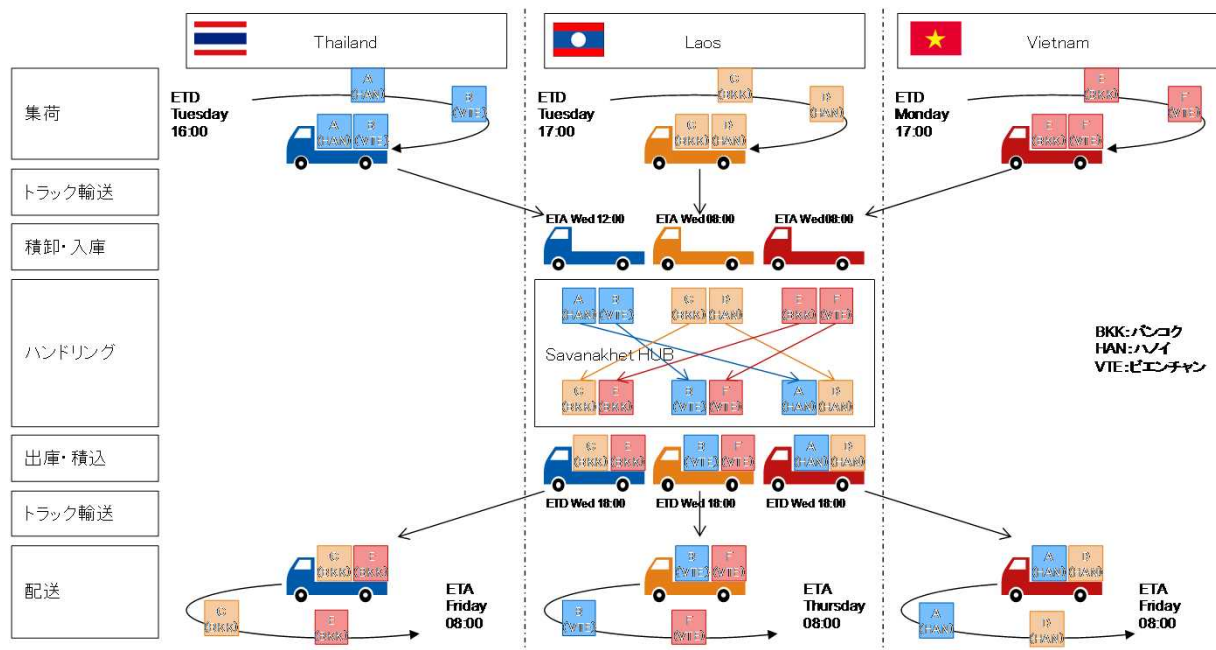
取組の概要

ラオス・サバナケットを中心として、メコン地域の陸上物流では初となる、ハブ・アンド・スポーク方式による共同集荷・共同輸送導入に向けた実証事業を実施。同輸送サービスの導入による効果及び課題を検証して、同輸送サービスの導入に係るビジネス環境の改善及び調和の提案を行う。

【事業実施の背景】

- ✓ 現在、メコン地域においては、「タイ+1」の動きとして、タイ・ベトナム周辺国が部品供給地として進展し、メコン地域内において生産分業ネットワークが形成が進展。
- ✓ 同地域は、経済成長に伴う生活水準の底上げと中間所得者層の拡大が期待されており、高付加価値の貨物や小型貨物への需要の増加があわせて期待。
- ✓ 今後、メコン地域内において陸送物流ネットワークを構築する場合、主要都市間を1社で1台を備車し輸送するこれまでのような方法をメコン地域全域に広げていくことは非効率であり、ハブ・アンド・スポーク方式を導入し、複数荷主の貨物を集荷・仕分けし、混載した上で、複数の物流事業者により各都市に向けて輸送することが効率的。

メコン地域における陸上ハブ・アンド・スポーク物流システム導入に向けた実証事業のイメージ



トライアル輸送

- オペレーション上の課題の検証
- 保税輸送に係る通関手続きをはじめとした法制度・商習慣等の制度上の課題の検証



日系物流事業者によるハブ・アンド・スポーク方式による共同集荷・共同輸送システムの普及・促進